



ロールモデル講演会とは！ ワークライフバランスを保ちながら研究面でも優れた業績をあげている海外の女性研究者を招き、その国や所属する研究機関の女性支援制度や自らの経験について講演してもらうことで、女性研究者のワークライフバランス向上に役立てることを目的としています。

■ 第2回ロールモデル講演会を開催しました。



2月25日に、第2回ロールモデル講演会を開催しました。オーストラリア連邦科学産業研究機構(CSIRO)のドレッサー博士(Dr. Maria Fernanda Dreccer)をお招きし、「農業研究における女性のキャリアについて：オーストラリアの例から」と題し、国や所属されている研究機関の子育て支援制度やご自身のワークライフバランスについてお話をしていただきました。

所内外から約30名の参加者があり、オーストラリアの支援制度や、研究者としてのターニングポイントについてなど、活発な質疑応答が行われました。

----- 制度や働き方について… -----

オーストラリアの産休や育児休業などは、日本とほぼ同じで、特に手厚い支援制度があるというわけではなく、家族や周囲の協力を得ながら研究を続けるための努力が必要であるという状況は我々とよく似ていることが分かりました。そんな中で、労働時間や給与に関し、様々な働き方を選択しながら、研究者としてキャリアを積んでいくためには、どのようなキャリアパスを歩むのか、“キャリアマップ”を常に意識していることが大事だというアドバイスがありました。また、仕事でもプライベートでも、ネットワークを大切にすべし、というアドバイスも。

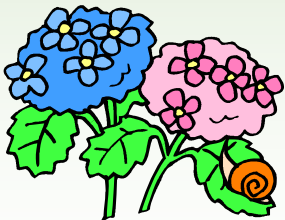
----- 講演会後のアンケートでは… -----

研究やキャリアに対する意識の高さや、具体的なサジェッションは非常に参考になったという感想が聞かれました。またこのような講演会に参加してみたいとの声が多く、ワークライフバランスについて興味・関心を持ってもらえたようです。

News Letter

6月

ロールモデル講演会
を開催しました号



2011.6.30